

# 全国保健師長会 北海道支部だより

2025年度  
第2号  
令和8年3月

寒さが少しずつ和らぎ、暖かな日差しが心地よい季節となりました。  
気が付けば、早くも3月が過ぎようとしており、新年度に向けた準備など日々お忙しくお過ごしのことと推察いたします。  
今年度も残りわずかとなりましたが、今年度開催したブロック研修や11月に徳島県で開催された全国保健師長会代議員総会のご報告をお届けいたします。



## 全国保健師長会代議員総会 参加報告

～ 全国保健師長会ホームページより ～

令和7年度全国保健師長会代議員総会が、徳島県において開催されました。第47回となる今回は、「多様性の時代に求められる管理職保健師の対応能力とは～組織管理と人材育成について～」をテーマとし、今年度も、現地及びWeb参加によるハイブリッドで開催されました。北海道支部からは現地1名、Web3名の代議員が参加しました。

### 【第47回全国保健師長会代議員総会】

- <日 時> 令和7年11月15日(土)
- <開催地> 徳島県 徳島グランヴィリオホテル(ハイブリッド開催)
- <参加代議員> 現地参加：和田会計(北見保健所)  
Web参加：菊池支部長(浦河保健所)、六田書記(深川保健所)、  
佐藤幹事(江別市)

## (1) 総会

総会議事 議案（第1～8号）審議及び報告事項：書面評決による審議によりすべての提案議案を承認

### 【主な内容】

- ① 令和7年度事業計画、令和8年度事業計画案：成立
- ② 役員改選及び結果報告：会長1名、副会長1名、監事2名、推薦委員3名が選任
- ③ 各ブロック・部会・委員会報告：令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画

## (2) 基調講演

「多様性の時代に求められる管理職保健師の対応能力とは ～組織管理と人材育成について～」  
教授 岩本 里織氏（神戸市看護大学健康生活看護学領域公衆衛生看護学分野）

## (3) 実践報告等

- ① 「保健師の副町長として考える組織間連携による包括的支援体制の実現と人材マネジメントについて」 副町長 工藤 華代氏（奈良県田原本町）
- ② 「組織において求められる統括保健師・管理職保健師の役割について」  
地域保健統括官 梅田 弥生氏（徳島県保健福祉部）

## (4) 次回開催県挨拶 福岡県 総会理事 北林 恭子氏

## 参加の感想

第47回代議員総会に現地参加させていただきました。令和8年度の活動テーマは、前年度に引き続き「未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～」となり、活動方針も示されました。

前日の研修会では、予測困難な時代だからこそ先を見据えた活動の重要性が示され、保健師には「これ」という武器を持たない強み（相手や時代に合わせる柔軟性）があること、取りこぼされる人を把握していくことが自治体保健師の役割であり、隙間に落ちている人にどうすれば届くのか、問い続け、考え続けられることが期待されているというお話があり、地区診断・施策化・事業化の視点として大事にしたいと感じるとともに、そういった保健師を育てていく必要性を実感しました。

また、人材育成に関する部分では、統括保健師の従事年数は限られているため、ポジションについてから役割を考えるのでは遅く準備期間が重要であること、管理能力は新任期からの積み上げであり、管理期に必要な役割を早いうちから知っておく必要があるとのお話もありました。

新人のなかにはゼロから自分で考えることが難しい場合もあり、フォーマットやマニュアルを示すことが有用であること、業務に活かせる強みを伸ばしていきながら、育成側が考える大事にしたいところを合わせていくことで融合していくこともあるとのお話もあり、改めて焦らずコツコツ取り組んでいこうと思ったところです。

オンラインでは得られない様々な刺激を得られ、最終日には札幌市支部の皆さまと「眉山&阿波踊り会館」、「阿波尾鶏」を味わい、徳島県を堪能することができました。ありがとうございました。

北海道支部幹事 和田 妃都美



## 北海道ブロック研修会を開催しました



全国保健師長会では、「未来を見据えた公衆衛生看護活用の展開～予防活動の実践、そして地域に根づく保健師活動の継承～」を令和7年度の活動テーマとしています。そのテーマをもとに、全国保健師長会北海道ブロック(\*)では、「地域に責任を持った活動の強化・予防的な地区活動を学ぶ」を研修テーマとして、以下のとおり北海道ブロック研修会をハイブリッド開催しました。

研修会講師の平野教授からは、「地区活動とは」「プライマリヘルスケアと地区活動」「地区活動は保健師を育てる」「管理期の皆様へ」と大きく4つの内容に関してご講義いただきました。

後半のグループワークでは、講義の感想や自組織での地区活動・予防活動の実践や次世代への継承等について意見交換を行いました。

※「全国保健師長会 北海道ブロック」は、「北海道支部」と「札幌市支部」で構成されており、情報交換や合同研修などの取組みをとおり、連携を深めています。

<日 時> 令和7年10月4日(土)13:30～16:30

<会 場> TKP ガーデンシティ札幌駅前 ホール3C (ハイブリッド開催)

<対 象> 北海道で働く保健師(会員・非会員問わず)

<参加者> 102名(会場:34名、Web:68名)

<内 容>

- (1) 令和7年度全国保健師長会活動方針・研究報告  
全国保健師長会 会長 前田 香氏
- (2) 講演「プライマリヘルスケアの理念を生かしたこれからの地区活動～地域に責任を持つとは～」 札幌医科大学保健医療学部看護学科教授 平野 美千代氏
- (3) グループワーク、全体共有



「保健師活動の根幹や理念を再確認することで、次世代への人材育成に活かしていきたいという意欲が高まった」

などの意見がグループワークで出ました。

「地区活動の定義に加え、プライマリヘルスケアとの相互作用、コアバリュー・コアコンピテンシーについて学びを深めることができた」  
「地域の専門職は保健師以外にもいる中で、保健師としての目的を若い保健師と共有していくことが大事ではないか」



ブロック研修資料は、全国保健師長会ホームページ(ブロック活動報告 北海道のページ)に掲載予定です

北海道ブロック研修 ～前田会長 平野教授を囲んで～  
全国保健師長会北海道ブロック札幌市支部役員・北海道支部役員



令和7年10月4日、北海道ブロック研修会をハイブリッド形式で開催しました。前田会長からは、会の歴史を振り返りつつ、「未来を見据えた公衆衛生看護活動の展開」をテーマに、4つの柱と重点目標のもと情報交換や調査研究、国への要望活動に取り組んできたことが報告されました。続く札幌医科大学の平野教授の講演では、プライマリヘルスケアの理念に立ち返り、地区活動の本質と次世代への継承について学びました。終了後の役員交流会でも、老害(笑)と言われない次世代育成が大きな話題となりました。

北海道支部理事 成澤 弘美

北海道保健師関係団体連絡会研修会を開催しました



北海道ブロックでは、北海道看護協会保健師職能委員会、全国保健師教育機関協議会(北海道地区)との関係を密にし、北海道における保健師活動の発展を目指して3団体が協力して活動しており、会員の親睦と資質向上のため研修会等を開催しています。

令和7年度は、「人口減少社会に求められる保健師の実践能力―“想定外を想定する能力”―」を研修テーマとして、以下のとおり北海道保健師関係団体連絡会研修会を開催しました。

参加者からは、「田高先生の講義が大変わかりやすかった」「グループワーク等で、他自治体の取り組み状況や課題を共有することができて、自分のまちにも活かせる視点を学べた」「保健師間でこのような本質的な意見交換をする機会が少ないので、とても楽しく、深めることができた」などの感想が多く聞かれ、アンケート結果からも参加者の満足度が高い研修会でした。

<日 時> 令和7年12月20日(土)10:00～12:00

<会 場> オンライン開催

<対 象> 北海道で働く保健師(会員・非会員問わず)

<参加者> 事前登録数 72名 当日参加者数 56名

<内 容>

- (1) 講演「人口減少社会に求められる保健師の実践能力―“想定外を想定する能力”―  
北海道大学大学院保健科学研究院創成看護学分野  
地域看護学/公衆衛生看護学教室 教授 田高 悦子 氏
- (2) グループワーク、全体共有



Japan Association of Public Health Nurse Directors

 全国保健師長会



《支部編集》北海道支部幹事 佐藤まゆみ(江別市)